

『糖尿病における病態の成因とインスリン抵抗性の重要性』

本邦における糖尿病患者激増の背景には、環境因子の変化に伴う内臓脂肪蓄積によって生ずるインスリン抵抗性と、遺伝的なインスリン分泌不全があり、この2つが相まって糖尿病を発症すると考えられる。今回はインスリン抵抗性に焦点をあて、病態の改善に基づく糖尿病の進行抑制と長期予後の観点から、本邦の糖尿病患者において最適な治療について考えたい。